

「ゴウコン」って？

「ゴウコン」とは「呉(ごう)式コンサルティングノウハウ」を略して「ゴウコン」と称しています。

一般的な経営者向けセミナーは、経営学者の所説を並べて、その歴史や経営の教科書の解説になっているものが多いと思われます。

当然ながら、「XXXさん曰く……」の連発です。

しかし、これらは中小企業の実戦で使えますか？

この手のセミナーでよく感じることは「これって大企業向けの理論じゃないの?」、「大学の授業見たいで解るよ
うで解らない」。。。

また、みなさんは、一回聞いたセミナーを再受講しますか？

たぶんしないですね？

では、質問です。いままで聞いたセミナーの内容で実戦の経営で利用しているもの・内容を解説できるもの
がいくつありますか？

実際には、別の人が解説する同じ内容のセミナーを受講して「解ったつもりになっているだけで、実際にはど
の内容も自分のものになっていないのではないのでしょうか？」

「ゴウコン」のプログラムは、業種・業界・規模に関係なく使える超実戦的な内容になっています。

「ゴウコン」のモットーは、「コンセプトイノベーション」=「考え方レベルを革新させる」です。

「ゴウコン」のすべてのプログラムは、ただ単純に暗記するだけではすぐ忘れてしまうノウハウの考え方を、「身
近な例題」を使って暗記ではなく「理解させる」=「脳に焼きつける」ことにより「真の使えるノウハウ」にしてゆき
ます。

「理解なきして日々変化する経営環境に耐えられるノウハウにはなりません」

学生時代の歴史の教科書の「いい国作ろう鎌倉幕府」という年表を暗記した記憶がありますよね？

ぶっちゃけ「これって何の意味があるのでしょうか？」 またこれは「今までの人生で何か役にたちましたか？」

たぶん「役に立っていないと思われます。」

このような「情報・知識レベル」のものばかりインプットしても「飲み屋の雑談程度」にしかありません。

つまり「リアルな中小企業の経営にはまったく使えないのです。まさに「ドラッカー曰く……」です。

「真の中小企業の経営」に即使えるノウハウは、「考え方レベル」で理解することにより使えるようになるので
す。

「いい国作ろう鎌倉幕府」も、源頼朝が、子の時代背景・自分の生立ちなどからなぜ鎌倉幕府を立てなければ
ならなかったのか?を理解することは、今後の中小企業の経営には役立ちます。

「ゴウコン」のプログラムは、すべて解りやすい身近な例題で構成されており、すべてのノウハウがつながるよ
うになっています。プログラムを重ねてゆくごとに繋がってゆくように構成されています。毎回過去の復習を
行いますが、必ず同じ例題を使います。シツコイくらいまで繰り返します。この繰り返しが、皆様の脳にイン
プットされて、経営に使えるノウハウになります。

このようなコンセプトで中小企業の経営に必要なノウハウを12コマの内容に絞って、解りやすい例題を交えて
「考え方レベル」で教えて行きます。

みなさんが「考え方レベル」で理解し、その考え方を「ぶれずに」、従業員のみなさんと会話したり、指導したり
すると、「全社的な判断基準が統一化」され、会社のスピードがめっちゃくちゃ早くなります。

従業員の皆様も、今自分が会社の目指す方向性の中で「この部分の仕事をしているんだ!」ということが自分
から理解できれば、「やらされている」⇒「参加している!」に発想が変わり、モチベーションも上がります。

このプログラムを受講すると、「自社の幹」が一本しっかり立つようになり、「ことば」を意識するようになります。

「ことばを意識すると」得意先に対する会話やプレゼンが劇的に変わってきます。

ただ、最低限暗記していただく、「キーワード」があります。それだけは暗記していただいて、後は「考え方」を
何度も何度も考えた「自分のオリジナルなもの」にするよう心がけてください。

みなさんも本気ですが、私も本気です。一緒に「考え方を楽しみましょう!」

また、このプログラムは、個々に独立していますので、単発ベースで受講されても問題がないようになっており
ますので、単体受講でもご受講ください。

ゴウコンは、全12回の連続セミナーです。どの回から受講しても各界の理解はできるようになっております。